

□ 要請番号 (JL54516B29)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ウガンダ	D235 自動車整備		個別	新規	2年	・ 2017/1 ・ 2017/2 ・ 2017/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育・スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

ナイル職業訓練校
NGO

3) 任地 (ジンジャ) JICA事務所の所在地 (カンパラ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 2.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

1988年、キリスト教系団体により、職業訓練を通じた青少年の生活向上と自活を目的に設立された大規模職業訓練校。木工・電気・配管・自動車・服飾・ビジネス・サービス等、多岐に渡る学科を有し、教員数120名、生徒数は1,000名を超える。2年、3年コースの他、技術力向上を目的とした実習のみの1年コースも有する。ウガンダ教育省にNGO団体として登録しており、政府からの援助金及び海外援助団体の寄付で運営されている。年間予算約1,000万円。2008年-2011年にかけて、他職業訓練校に派遣されていたボランティア(自動車整備 JV・SV各1名)が、巡回型で指導を行っていた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ウガンダ国内で流通している車両の9割が日本車 (車齢10年前後の中古車) のため、日本車の整備技術を有する人材が求められている。配属先自動車科では、座学による理論の理解は高いものの、実習での車両整備や修理技術の習得においては理解度が低く、生徒への実習指導強化が要望されている。また、ウガンダにある多くの車両が電子制御化されている一方で、指導員の電気関連知識・技術は低く、指導員に対しても、特に電気関連の知識・技術に重点を置いた新しい技術の共有、指導上のアドバイスが求められていることから、本要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. 座学および実習授業の実施・サポート(実習をメインとする)
2. 指導員に対する技術的なアドバイスや指導上のアイデアの共有(特に電気関係の知識・技術の共有)
3. 工具の正しい使い方や管理、ワークショップの整理整頓等の指導

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

実習用自動車2台(セダン並びにピックアップ・トラック)及びオートバイ7台、教材用エンジン、工具類、エンジン・クレーン、オートモーティブデジタル診断器、タイヤ空気圧力計等

4) 配属先同僚及び活動対象者

学科長 (男性、40代後半)
自動車科指導員 8名(20代-40代)
自動車科生徒 約330名(15-20歳)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(2級整備士 (G・D))

[学歴]：(専門学校卒) 備考：指導員も学歴が同程度のため

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：実習を担当する為

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(常初夏気候) 気温：(15～30℃位)

[電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(不安定)

【特記事項】